

# 学校評価集計結果の分析・考察及び改善策の検討

令和2年度

## 1 学年

### 1 集計結果の分析・考察

- ・12 進路に関する指導・面談で先生に積極的に相談しているの項目が最も低く A B が 48%であった。
- ・その他の A B が少ない項目は
  - 8 自宅や通学時間で学習時間をとっている
  - 9 宿題以外の学習をするように心がけている
  - 10 部活動や生徒会活動に積極的に参加し他の人たちと協力しながら自らを向上させようと努めているであった。
- ・上記の項目以外は A B が 80%であった。

### 2 改善策及び今後の在り方・方向性等

- ・進路に関しての評価が低いのは、1年生として意識が低いこともあるが、1年生なりの自分の将来に対する希望とその実現のための具体策をしっかりと考えさせる場の設定が必要である。
- ・8と9の項目については、宿題を終わらせるのが精一杯で自分なりの学習を計画的に実践する支援、助言が必要である。進路に関しての意欲を持たせることがこのことにつながると考えられる。
- ・学習面が精一杯のため10の部活動や生徒会活動に取り組む余裕がないと考えられる。